

課題名：革新的医療機器の創出から国際展開を目指す「東九州モデル・エコシステム拠点」の人材育成 基盤の確立

代表機関／代表者：国立大学法人大分大学/ 穴井 博文

分担機関：なし

研究期間：令和7年7月～令和8年3月

支援内容・体制

- 人材育成教育
 - ・ 医療ビジネス研修会
 - ・ 医療機器ニーズ探索交流会
 - ・ 臨床現場研修会
 - ・ インターナショナルクリニカルプラクティス
 - ・ 国際展開シンポジウムinおおいた
- 異業種交流、融合、情報交換
 - ・ 大分医療関連機器開発イノベーションプログラム座談会
 - ・ 医看工芸ものづくりワークショップinおおいた2025
 - ・ 東九州メディカルバレー構想合同推進大会
- 伴走支援、技術指導、開発研究支援
 - ・ 医療機器「解体しよう」(Reverse-Engineering)
 - ・ ものづくり工房の運営
 - ・ 大分県医療ロボット・機器産業協議会医療関連産業参入促進セミナー
- 情報発信、提供
 - ・ CENSNET® (センスネット：医療機器開発情報サイト)



成果・実績 (予定)

- 医療ニーズブラッシュアップ・提示 15件、探索交流会参加者50名
- 医療ビジネス研修会参加者30名
- 医療機器「解体しよう」1回
- 医看工芸ものづくりワークショップinおおいた2025 参加者延べ75名
- インターナショナルクリニカルプラクティス 研修者6名
- 国際展開シンポジウムinおおいた 参加者数100名
- 大分医療関連機器開発イノベーションプログラム座談会 参加者数延べ120名
- 東九州メディカルバレー構想合同推進大会 参加者 200名

支援イメージ

医療機器ニーズ探索交流会



- 医療ニーズ提示
- 臨床現場研修会
Clinical immersion、ニーズ探索
- 情報交換会議
Brainstorming、ニーズ発掘
医療従事者とのディスカッション

➤ ニーズのブラッシュアップ

- 臨床背景、現状調査
- 分類、保険償還
- 市場性調査
- 特許情報
- 類似品、製品調査

情報を付加して発表

- 真のニーズ (ニーズの真意)
- 事業性のあるニーズ
を引き出す

支援イメージ

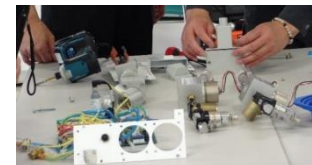
大分医療機器開発イノベーションプログラム

- 座談会



- 2か月毎に定期開催
- 医療従事者を含む異業種が自由に対話をする会
- 医療従事者との直接ディスカッション
- 企業間の情報交換にも有用

- 医療機器「解体しよう」



Reverse Engineering

附属病院で廃棄処分になった医療機器を分解し部品や構成、質や精度を学ぶ。分解例：人工呼吸器、電気メス、輸液ポンプ